

響の だより

〔ひびきのもりだより〕

2021.12.2
vol. 68



美しい冬 氷ノ山

凛とした空気、
雪の造形を愛で、
静かに流れる
非日常の時間を愉しむ。

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



『ほほ牧场』

館の園路に仕掛けたトレイルカメラにいろんな動物が写っています。正面玄関前は毎晩

ほほ「シカ牧场」です。明るい時間でもこんな画像が撮れたりします。

哺乳類

9/19 キツネ、ノウサギ
9/22 シカ初鳴き(繁殖期)
10/14 クマ棚(東因幡林道
ミズナラの木)

鳥、他

7/14 イカル、ホトトギ
ス(館周辺)
7/30 ノコギリカミキリ
8/15 カジカガエル
(玄関)
9/26 クチバシズメ
幼虫
10/ 7 アサギマダラ
10/21 イワツバメ
10/22 アトリ(園路)

植物

7/ 6 オカトラノオ
咲き始め
8/30 オタカラコウ
咲き始め
10/ 2 アケビ
10/21 リンドウ(花)



ヤドリギ

木の枝にモジャモジャ



黄色の果実



オレンジ色の果実



フンと一緒に種が枝に付く



果実に触ってみる



スノーシューハイクやスキートレッキングで冬山を歩いていると、葉っぱが落ちた木の枝先に緑色で妙にモジャモジャした塊が見えることがあります。鳥の巣のようにも見えるその正体は「ヤドリギ(宿り木)」という常緑性の木です。近づいて見るとヤドリギの株元は木の枝に付いていて根っこは見えません。ヤドリギの根は木の枝の中に入り水分や栄養分を奪っています。ただ、葉っぱは緑色で光合成をし、自らも栄養分を作り出しているの、全てを木に頼っているわけではない半寄生の植物です。

ヤドリギは3~4月に花が咲き10~12月に黄色やオレンジ色の果実が熟します。果実を見ると食べてみたくなるのが人の性(さが)。ちょっと口に入れてみました。ちなみに、果実には毒性がある等、諸説ありますのでご注意ください。これまで口に入れるのをお勧めした皆さん申し訳ありませんでした。皮は薄くゼリー状の果肉と種子が入っていて、プニプニした感触で少し甘味があります。飲み込もうとすると引っ掛かる感じが、プツと吐き出そうとしても糸を引いて垂れるような状態になります。思いのほか始末の悪い果実なのです。この激しく粘りのある果肉が、ヤドリギの

勢力拡大に重要な役割を果たしています。

ヤドリギは木の高いところに寄生し、冬に果実が付くので、餌の乏しいこの時期に鳥たちにとっては絶好の食べ物です。鳥は果実を丸のみするのですが、種とその周りのベトベトは消化されないままお尻から出てきます。しかし、ベトベトが残ったままの種は鳥のお尻にくっついて切れが悪い!(お食事の方、失礼!)。そこで、鳥は枝にお尻をこすりつけて種を落とそうとします。また種がお尻にくっつかなくても、ベトベトが糸を引いたような細長いフンになって、何かの拍子に種が枝にピタッとくっつきます。枝に付いた種はそこから寄生根を伸ばして、新たなヤドリギとして成長していくのです。

響の森の近く、開けている所の大きなヤマハンノキにヤドリギが寄生しているのですが、遠くからでも良く目立ち、鳥にとっては格好の食事場所となっているようです。果実を食べてはフンと一緒に種を残していったのでしょうか、あちこちの枝にヤドリギが生えています。果実が実る→鳥が果実を食べて種を散布する→ヤドリギが生える、という循環になっているようです。

北欧など冬の寒さの厳しい土地では、緑色をしたヤドリギにイキイキとした生命力を感じ、その生命力にあやかった様々な神話や伝説、風習があります。「生命力」イコール「愛」ということから、クリスマスの季節にカップルがヤドリギの下でキスをすると永遠に結ばれるという言い伝えがあります。またヤドリギの下でハグをすることで、ヤドリギが持っている幸運と長寿のパワーを得ることができると言われています。

冬は林の中のササなどが雪で覆われるので、スノーシューを履いて自由に歩き回れるようになります。また立ち位置も高くなり、木の枝先の冬芽に近づいて見ることができる等冬ならではの体験ができます。皆さんもスノーシューハイクに参加してヤドリギをじっくり観察し、果実のネバネバする触感を体験したり葉っぱから生命力を感じたりしてみるのはいかがでしょうか。(高橋)

Special Issue

あんなこと、こんなこと



大鹿滝ハイキング

9/12㊤



今回初企画の滝めぐりハイキング。広留野から急坂を下って「大鹿滝」へ、滝の「裏見」をしつつ遊歩道を進み次の「出会いの滝」、更にその奥の「雲竜の滝」へ。お昼の休憩後、来た道に戻ると言う行程でした。普段は登山してから下山ですが、今回は降りてから急坂を登って帰ると言う行程で、最後に汗だくになった皆さんでした。



わかさ氷ノ山山フェス2021

10/2㊤~10/24㊤



響の森ではボルダリングやクイズラリー、星空イベントなどを開催しましたが、中でも反響が大きかったのが、響の森の外壁を登るウォールクライミングでした。中にはつべんまで到達する子供もいて、ギャラリーを沸かせていました。カッコいいところを見つけた大人達でしたが、スタッフをはじめ、多くの人が高くそびえる壁の前に散ってしまいました(笑)。来年の山フェスもどうぞ期待♪



企画展「森のクマさん、どこへ行く?」

10/2㊤~11/23㊤㊤



20年ぶりのクマ展。今回のシンポジウムは初めてオンラインでも配信するなど、主催者としてはいつもとは違う緊張感がありました。感染予防のため、定員を半分にしたとはいえ、満員のお申込みをいただき、市民のみなさんのクマへの関心の高さがうかがわれました。今年は山の木の実が豊作なので、来年は凶作の可能性大、すなわち大量出沒の可能性が。会わない、呼び寄せないようにしてクマも人も平和に暮らしたいものです。



響の森インタープリターのイチ押し情報

エントランス水槽コーナー ★再押し



実は「響の森だよりvol.47」でも一度押ししているのですが、再押ししたい理由があるのです。生き物飼育担当5が、あの時よりもさらにやる気をみなぎらせ、採集・展示に力を入れて水槽の数も増えました。かわいい川魚達に是非会いに来てください。

Highly Recommended



クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

7月~10月の活動内容

- イベント補助(11)
 - クマ展準備(1)
- ()は延べ人数



クルーを随時募集しています! お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで!

クルー 大活躍!

磯やキノコの観察会、クマ展準備、大鹿滝ハイキング、登山、多くの人気のイベントで知識、経験、技術を生かしてお手伝い頂きました。毎度ながらとても助かります。

◀グループの1番後ろで参加者をしっかりとフォローして頂いています。

Activity Report

1月	8日⊕	おためしスノーシュー	
	10日Ⓞ	ネイチャースキートレッキング	
	15日⊕	スノーシューハイク	
	16日Ⓞ	雪と遊ぼう 時間／10:00～14:00 料金／大人 1,500円 小人 800円 対象／年少～小学生の子供と家族	申込 先着順 (12/23～1/10)
	22日⊕	森のようちえん+ (雪バージョン)	
	23日Ⓞ	スノーシューハイク	
	30日Ⓞ	親子自然研究クラブ 「冬の自然観察」	
2月	6日Ⓞ	スノーシューハイク	
	13日Ⓞ	雪と遊ぼう 時間／10:00～14:00 料金／大人 1,500円 小人 800円 対象／年少～小学生の子供と家族	申込 先着順 (1/20～2/6)
	19日⊕	夜の森スノーシューハイク 時間／18:00～21:00 料金／3,000円 対象／小学4年生以上	
	20日Ⓞ	ネイチャースキートレッキング	
	27日Ⓞ	森のようちえん+ (雪バージョン)	
	3月	5日⊕	スノーシューハイク
6日Ⓞ		冬山登山にチャレンジ 時間／8:30～15:00 料金／4,800円 対象／18歳以上	
13日Ⓞ		ネイチャースキートレッキング	



Recommended Books 森のオススメ本

ツキノワグマのすべて

たくさんの写真が使っており、パラパラとページをめくるだけでも楽しい。生態や体のつくりなど基本的なことから、もっと知りたい人のための参考文献までツキノワグマを知りたい人には至れり尽くせりの一冊です。それでいて全126ページと最後まで一気に読み切れるボリュームなのもうれしいところ。子供から大人まですべての世代におススメです。



【著】小池伸介 【写真】澤井俊彦
【出版社】文一総合出版

Information インフォメーション

プライベートプログラム
**響の森
エコツアー**
インタープリター
がご案内

「団体じゃないけど希望の日程で参加したい」「家族だけで楽しみたい」…など、少人数のお客様のプログラムで「2名様から受付」。ガイドは響の森インタープリター。氷ノ山のツボをしっかりと押さえているので楽しいツアーになること間違いなしです。ぜひリクエストしてください。

リクエスト受付中

詳しくは「響の森」にお問合せください

お問い合わせ TEL (0858) 82-1620



(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間／午前9時～午後5時

	4月～9月	10月・11月	12月～3月
月曜日	月・火曜日	月～水曜日	
夏休み 期間中は無休			12/29～1/3
祝日の場合は翌日休			



入館
無料



編集後記

ヤドリギの実を口に含んだことはありませんが、飲み込むのは抵抗があり、しなくて良かった。高橋 今度の冬は大雪らしい。みんなが言ってるけどホントかな…。(岡田) 大量の雪はワクワクしますが、雪道通勤にはドキドキします。(佐々木) 待ちかねた冬。山に！ゲレンデに！スキーにゆくぞ～♪ 予報通り雪たっぷり降ってほしい！(松平)